

病理セカンドオピニオン組織評価の病理組織検体貸出について

群馬県立がんセンター
臨床病理検査部・病理検査課

当院では、がんゲノム遺伝子パネル検査提出前に、病理診断の確認と検体の適否を調べるため、腫瘍部のHE染色スライドガラスの貸し出しをお願いしています。

① がんゲノム遺伝子パネル検査に提出する組織のHE染色標本
(注意点の条件に一致するものを送付してください。)

② 病理組織検体診断報告書

③ 切り出し図

※②③については①対応するものをお願いします。

以上の提出をお願いいたします。

スライドガラス（HE染色標本）選択の注意点

- ・ 標本作製後より、3年以内の検体を推奨しています。
(それ以前の検体しかない場合は当課までご相談ください)
- ・ 状態が良く、腫瘍領域の多い部位を選択してください（転移巣も可）。
- ・ 腫瘍領域の表面面積が5mm×5mm（25mm²）以上（生検検体は特に注意してください）。
- ・ 腫瘍領域に存在する全有核細胞のうち、腫瘍細胞が30%以上を必要とします。
- ・ 酸脱灰が行われていない検体を選択してください。
- ・ 3mm程度の厚さがあるブロックを選択してください。

※常勤病理医・病理部門を有するご施設は提出前にあらかじめ自施設にて確認をお願いします。

※標本や臓器が複数ある場合は、ご施設にて適切と思われる個所に絞ってください。

※検体の適否評価後にHE染色標本は返却いたします。

※委託検査会社等で病理組織検体を作製し、院内に病理組織検体の保管がない場合は、スライドガラスやパラフィンブロックが保管先にあることを確認し、事前にとりよせてから評価依頼をお願いいたします。

不明な点がございましたら以下にお問い合わせください。

群馬県立がんセンター 臨床病理検査部 飯島 美砂
病理検査課 寺田 美保

電話 0276-38-0771